

東京大学の学生が紀の川市の地域課題解決に取り組みます！

県では、東京大学との包括連携協定に基づき、「東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム」に参加する学生を受け入れています。この度、受入の協力を得られた紀の川市において下記のとおり学生による現地活動を実施します。

なお、取材にあたっては、学生に同意を得る必要があるため、9月26日までに、下記担当にご連絡ください。

記

（１）紀の川市における活動テーマ

打田駅前エリアの賑わいの創出

【取組内容】

- ① 空き家の利活用を通じた持続可能なコミュニティの創出
- ② 空き家の利活用を通じた関係人口の拡大

【協力体制】

株式会社 CASE

（２）参加学生

計5名 <大 学 生> 1年生：1名 2年生：2名 3年生：1名
<大学院生> 1年生：1名

学部1年生から大学院生まで、様々な分野を専攻する学生が参加

（３）現地活動について

日 程：令和5年9月27日（水）～29日（金）

場 所：JR 和歌山線打田駅前エリア

※スケジュール詳細については下記担当（紀の川市地域創生課中）までお問い合わせください。

（４）今後のスケジュール

R5.10月～1月 現地活動を踏まえた企画提案と取りまとめ（オンライン）

R6.1～2月頃 現地報告会

【参考】東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム

本プログラムは社会的課題に果敢にチャレンジするリーダー人材を育成することを目的とし、自治体から提示された地域課題に対して、事前調査・現地活動・事後活動を通じて1年かけて課題解決への道筋提案を行うものです。今年度、和歌山県では紀の川市と上富田町が参加しています。詳細については東京大学 HP をご参照ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/h002.html>

担当	和歌山県	紀の川市
	移住定住推進課 安居	地域創生課 中
電話	073-441-2930	0736-77-5077